

環境に配慮した取り組みの紹介

ゲンジボタル保護対策実施箇所での生息状況について

- 新東名の建設区間では、地域の動植物の生息・生育環境への影響を減らす対策の一つとして、1997年よりゲンジボタルの保護を、複数個所で行っています。
- 引佐JCT（静岡県浜松市）では1999～2000年に、橋梁下部工工事を行う際にゲンジボタルが生息する河川の位置を替える工事を行いました。
- 自然型構造護岸の採用や、幼虫の飼育・放流などの保護対策を行ない、工事が完了した翌年（2001年）からホタルの飛来が確認され今年も確認することができました。
- 今年は初めて、地元の小学生など招いてホタル保護の勉強会を開催しました。
- 今後も引き続き、自然環境に配慮した道路（エコロード）づくりを進めます。



工事前
【1998年】



地元小学生によるホタル保護の勉強会の状況
【2009年6月8日】



工事完了後（ホタル保全用ブロック約1200㎡）
【2001年】



勉強会で確認されたホタルの成虫



現在
【2009年7月】



飛来状況の確認
【2009年6月撮影】

従来のコンクリートに覆われた河川工事に代わって、治水面での安全性を保ちながら自然生態系をこわさず景観にも配慮して整備される護岸

以上